

大和町の秋を満喫

10月2日（日）大和町吉岡にて「たいわ産業まつり」が開催された。

まつりは大和町の農林水産業の生産者が一堂に会し、色とりどりの秋の味覚を楽しむことができる町の風物詩だ。



会場には物販ブースが多数並び、生産者から地場産品を直接購入することができる。

当日は見事な秋晴れとなり、約2,700人もので来場者が大和町の秋を満喫した。

会場内に設置されている7基の巨大囲炉裏は、購入した牛肉や野菜をその場で焼いて食べることができるため、毎年多くの人で振る舞うまつりの目玉だ。

囲炉裏を利用した人々は「自分たちで炭火焼きをしようとするのが手間がかかるので、このような機会を用意してくれてとてもありがたい。子供たちも、とても喜んでいるので、これからも祭りを続けてもらいたい」と笑顔で話していた。



今年で15回目を迎えた「たいわ産業まつり」は、地元の農業者と顔を合わせた交流ができる祭りとして、今や農業者のみならず、地域住民すべてにとって大切な祭りとなっている。